

No.	年度	種類	監査結果報告日	担当部名	担当課名	意見等・指摘項目	概要	対応状況	完了時期 (完了予定時期)	会計区分①	会計区分②
1	26	決算	H26.8.27	上下水道局	上下水道局(水道)	経営状況について	収入減少と支出増加、阪水からの受水や水道庁舎の建替などを踏まえ、一層の経営の効率化に努めること。	着手中	令和8年3月	公営企業(水道)	
2	26	決算	H26.8.27	上下水道局	上下水道局(水道)	宝塚市水道事業基本計画及び宝塚市上下水道事業経営改革プランについて	計画と達成状況の乖離が大きく現実性に乏しい計画となっている。次期計画、プランでは、積極的に目標値設定を行い、市民に経営状況を分かりやすく公表すること。	完了	平成28年12月	公営企業(水道)	
3	26	決算	H26.8.27	上下水道局	上下水道局(水道)	未登記物件について	上下水道局の土地台帳には、全8施設16筆93,008.95㎡の未登記物件が登録されている。早期解決に向け未登記物件解消対策に取り組むこと。	着手中		公営企業(水道)	
4	26	決算	H26.8.27	上下水道局	上下水道局(水道)	未収給水収益の債権管理について	「宝塚市水道料金及び下水道使用料債権管理マニュアル」が作成されたが、水道料金の時効は2年であるため、徴収努力を怠らず、時効の中断手続について漏れなく行うこと。	完了	平成27年3月	公営企業(水道)	
5	26	決算	H26.8.27	上下水道局	上下水道局(水道)	督促手数料について	宝塚市水道事業給水条例第30条の2において督促手数料徴収について規定しているが、水道料金債権は私法上の債権であり、督促手数料の徴収はできないのではないか、条例等の整備を検討すること。	完了	平成27年4月	公営企業(水道)	
6	27	決算	H27.8.24	上下水道局	上下水道局(水道)	経営状況について	当年度決算で当年度純損失が生じているため、長期的な安定経営に向けなお一層の経営の効率化に取り組むこと。	着手中	令和8年3月	公営企業(水道)	
7	27	決算	H27.8.24	上下水道局	上下水道局(水道)	債権管理について	窓口における受付や滞納整理業務等を包括委託しているが、受託業者に任せきりにすることなく、指導・監督に努めること。また債権については、安易に債権放棄の対象とならないよう適切な債権管理に努めること。	完了	平成28年3月	公営企業(水道)	
8	27	決算	H27.8.24	上下水道局	上下水道局(水道)	変更契約について	当初契約が一定条件の下に競争入札等に付されたためある以上、その内容を安易に変更することは好ましくない。工事に係る変更契約事務処理の適正化を図ること。	完了	平成27年8月	公営企業(水道)	
9	27	定監	H28.2.17	上下水道局	上下水道局(水道)	宝塚市水道経営戦略策定業務及び宝塚市下水道経営戦略策定業務について	ビジョン・経営戦略につき、なるべく現在の計画との空白期間が生じないよう留意する必要がある。また、水道事業経営戦略の収支見込について、収益的収支が赤字で推移することが見込まれているなど検討が十分であるとは言えないと、目標達成のための具体的な取組が現時点で示されていない。現在の策定案が「ビジョン」及び「経営戦略」と呼ぶにふさわしいものとなるよう取り組むこと。	完了	平成28年12月	公営企業(水道)	
10	27	定監	H28.2.17	上下水道局	上下水道局(水道)	公用車について	工務課専用車両の稼働率が低く、給水車の中で使用日数が少ないものが2台あり、それらの使用1日当たりのリース料は非常に高額となっているため、上下水道局内各課間での共用化、市長事務部局との共用化を図るなど、稼働率の低い公用車の必要性については、経営意識をもって見直し、更なる効率化に努めること。	着手中	令和2年9月	公営企業(水道)	

No.	年度	種類	監査結果報告日	担当部名	担当課名	意見等・指摘項目	概要	対応状況	完了時期 (完了予定時期)	会計区分①	会計区分②
11	27	定監	H28.2.17	上下水道局	上下水道局(水道)	上下水道料金コンビ二取納代行業務委託について	契約書中に業務仕様書が添付されておらず、また、特名随意契約理由は基た不十分な内容である他、セキュリティ誓約書は会社印のみ押印された状態で日付欄が空欄のままになっているなど書類不備が散見されるため、契約事務の適正な取扱いを徹底し、特に安易な特名随意契約事務を行わないよう心掛けること。	完了	平成29年3月	公営企業(水道)	
12	27	定監	H28.2.17	上下水道局	上下水道局(水道)	危険作業手当について	各浄水場においては危険作業手当の運用は、明らかに規程から逸脱しているため、今後は規程に基づいた手当支給手続を行うこと。	完了	平成28年1月	公営企業(水道)	
13	27	定監	H28.2.17	上下水道局	上下水道局(水道)	特名随意契約について	入札等でシステム及び機器等を安く調達できたとしても、その後の保守・管理業務において割高な費用がかかることで、契約の経済性が損なわれるケースも考えられるため、今後は保守点検費用等も考慮した契約事務の在り方について検討すること。	完了	平成28年6月	公営企業(水道)	
14	28	決算	H28.8.26	上下水道局	上下水道局(水道)	経営状況について	水道料金の改定を行うためには、市民の十分な理解と協力が必要で的確な水需要予測とともに、財政計画に裏打ちされた投資計画を明確にすることが前提となるため、今後とも、長期的な安定経営に向けなお一層の経営の効率化に取り組むこと。	着手中	令和8年3月	公営企業(水道)	
15	28	決算	H28.8.26	上下水道局	上下水道局(水道)	水需要の予測について	より正確な水需要予測に基づく経営戦略を策定されるよう望むとともに、水道ビジョン及び経営戦略について、慎重かつ一刻も早く策定できるよう努めること。	着手中	令和8年3月	公営企業(水道)	
16	28	決算	H28.8.26	上下水道局	上下水道局(水道)	債権管理事務について (1)未収金対策について	仕様書に定められた業務が十分に履行されているとは言えず、今後は受託業者に任せきりにすることなく、仕様書に定められた業務が適切に履行されているか十分に確認すること。	完了	平成29年3月	公営企業(水道)	
17	28	決算	H28.8.26	上下水道局	上下水道局(水道)	債権管理事務について (2)債権放棄について	今後は、臨時水道料金についても滞納整理策を作成し、滞納者との交渉記録を詳細に残すことをはじめ、一般水道料金と同様の滞納整理業務を行い、滞納額の解消に努めるとともに、臨時水道料金の前納制度の在り方についても検討すること。	完了	平成30年3月	公営企業(水道)	
18	28	決算	H28.8.26	上下水道局	上下水道局(水道)	債権管理事務について (3)消滅時効管理について	今後は、水道料金と下水道使用料の滞納とを明確に区分した上で、各々の債権について適切な時効管理を行うよう努めること。	完了	平成29年3月	公営企業(水道)	
19	28	決算	H28.8.26	上下水道局	上下水道局(水道)	管路整備について	経年化管路整備率、耐震化整備率のいずれも進捗状況はほかほかしいものではなく、今後はより積極的な取組が望まれる。	着手中	令和8年3月	公営企業(水道)	
20	29	決算	H29.8.25	上下水道局	上下水道局(水道)	経営状況について	長期的な安定経営に向け、宝塚市水道事業経営戦略に掲げた経営健全化に向けた取組にとどまらず、なお一層経営の効率化に努めること。	着手中	令和8年3月	公営企業(水道)	

No.	年度	種類	監査結果報告日	担当部名	担当課名	意見等・指摘項目	概要	対応状況	完了時期 (完了予定時期)	会計区分①	会計区分②
21	29	決算	H29.8.25	上下水道局	上下水道局(水道)	宝塚市水道ビジョン2025及び宝塚市水道事業経営戦略について	管路の耐震化率、管路の耐震適合率及び管路の更新率の実績が指標を下回っていた。最終年度の目標値を達成できるよう、計画的に推進すること、経営健全化に向けた取組を引き続き進めること。	着手中	令和8年3月	公営企業(水道)	
22	29	決算	H29.8.25	上下水道局	上下水道局(水道)	臨時水道料金について	一般水道料金と同様の滞納整理業務を行い、滞納額の解消に努めること。また、高額な滞納が発生しにくい制度の在り方についても検討すること。	完了	平成30年3月	公営企業(水道)	
23	30	決算	H30.8.23	上下水道局	上下水道局(水道)	経営状況について	施設、管路等の老朽化による更新費用、また現在進められている上下水道局庁舎の建て替え等により、水道事業を取り巻く環境がより一層厳しくなることを踏まえ、長期的な安定経営に向け、更なる経営の効率化に努めること。	着手中	令和8年3月	公営企業(水道)	
24	30	決算	H30.8.23	上下水道局	上下水道局(水道)	宝塚市水道事業経営戦略について	計画2年目で既に見込まれていた取組効果額と実績額に大きな差額が生じている。計画とおりの取組効果額を確保するためには、新たな取組の検討が必要ではないか。最終年度の目標値を達成できるよう、今後取組を強化すること。	着手中	令和8年3月	公営企業(水道)	
25	30	決算	H30.8.23	上下水道局	上下水道局(水道)	新庁舎建設に係る土地購入について	上下水道局倉庫用地について、上下水道局は市が公社から購入した単価と同じ単価での購入を主張すべきだったのではないかと、契約に当たってはより慎重に検討されるべきではなかったかと考える。	完了	平成30年3月	公営企業(水道)	
26	30	決算	H30.8.23	上下水道局	上下水道局(水道)	上水27A-007 阪神水道受水送水管布設工事(その3)について	漏水が確認されたことを受け工事場所を確認したところ、上下水道局の責任に係る瑕疵(設計不良)及び事業者の責任に係る瑕疵(施工不良)があったことが判明。十分な検証を行うとともに二度とこのような事故が発生しないよう必要な対策を講ずること。	完了	平成30年9月	公営企業(水道)	
27	26	決算	H26.8.27	上下水道局	上下水道局(下水道)	経営状況について	中長期的見通で、今後、毎年度6億円の資金不足が生じる見込みとのことだが、経営改善に向けたスケジュールを明確に、経営の健全化を図ること。	着手中	令和8年3月	公営企業(下水道)	
28	26	決算	H26.8.27	上下水道局	上下水道局(下水道)	補てん財源について	平成25年度決算においては、資本的支出額の不足の一部を未払金で措置しているが、行政実例からも未払金を補てん財源として使用することは好ましくない。	完了	平成26年8月	公営企業(下水道)	
29	26	決算	H26.8.27	上下水道局	上下水道局(下水道)	下水道使用料について	使用料の改定は、中長期的な経営予測のもとに十分な検討を重ねる必要がある。また、市民に対し下水道事業の役割、事業計画、経営状況、受益者負担など、十分に理解が得られるよう説明することが必要。	着手中	令和8年3月	公営企業(下水道)	
30	26	決算	H26.8.27	上下水道局	上下水道局(下水道)	一般会計繰入金金の精算について	一般会計からの繰入金について、実績額による精算を行わず、予算額で繰入が行われている。繰入金金の在り方について一定の整理を行う必要がある。	完了	平成30年3月	公営企業(下水道)	

No.	年度	種類	監査結果報告日	担当部名	担当課名	意見等・指摘項目	概要	対応状況	完了時期 (完了予定時期)	会計区分①	会計区分②
31	26	決算	H26.8.27	上下水道局	上下水道局(下水道)	未収下水道使用料の債権管理について	債権管理マニュアルが作成されたが、公債権である下水道使用料の時効は水道料金よりも長い5年。放置することなく適切に管理を行う必要がある。	着手中	令和3年3月	公営企業(下水道)	
32	27	決算	H27.8.24	上下水道局	上下水道局(下水道)	経営状況について	当年度決算は当年度純損失が生じているため、早急に経営改善に向けたスケジュールを明らかにし、経営の健全化に努めるとともに、利用者に対し経営状況を分かりやすく説明し、理解を得るよう努めること。	着手中	令和8年3月	公営企業(下水道)	
33	27	決算	H27.8.24	上下水道局	上下水道局(下水道)	宝塚市上下水道事業審議会からの答申について	宝塚市上下水道事業審議会からの答申の中で下水道使用料の料金改定の考え方について述べられているため、できるだけ早くかつ慎重に経営改善に関する企業としての方針を決定し、これを明らかにすること。	着手中	令和8年3月	公営企業(下水道)	
34	27	決算	H27.8.24	上下水道局	上下水道局(下水道)	債権管理について	下水道使用料について、これまでに財産調査や滞納処分を行った例はない。市税収納課と協議を行い、効果的な未収金回収についてノウハウの確立に努めること。	着手中	令和3年3月	公営企業(下水道)	
35	27	決算	H27.8.24	上下水道局	上下水道局(下水道)	変更契約について	工事に係る設計・契約変更について、30%を超える変更率となっていた。別途契約で処理できないかなど、慎重な検討が必要と考える。今後とも安易に契約変更がなされることのないように。	完了	平成27年8月	公営企業(下水道)	
36	28	決算	H28.8.26	上下水道局	上下水道局(下水道)	経営状況について	今後の経営計画を見ると、平成27年度から32年度にかけて毎年、当年度純利益が発生し、平成32年度における次年度繰越利益剰余金は28億7,464万円と試算されており、更なる料金改定を検討するためあれば、未処分利益剰余金の一部を施設更新のための積立金に積み立てる等、中長期の経営見直しにおける考え方を整理し、利用者の理解を得るよう努めること。	着手中	令和8年3月	公営企業(下水道)	
37	28	決算	H28.8.26	上下水道局	上下水道局(下水道)	債権管理について	下水道使用料の未収金及び不納欠損について、取組が不十分であったと言わざるを得ず、受託業者の指導・監督に努めること。また、下水道受益者負担金及び水洗便所改造資金貸付金にも取組が不十分であったと言わざるを得ず、今後は適切な徴収に努めること。	完了	平成29年3月	公営企業(下水道)	
38	28	決算	H28.8.26	上下水道局	上下水道局(下水道)	公共下水道事業認可区域内の雨水排水施設整備計画の進捗状況について	市民の災害に関する不安を解消するためにも、雨水排水施設整備計画については、応急的な措置だけでなく、できるだけ早く抜本的な対策を実施すること。	着手中	令和2年9月	公営企業(下水道)	
39	29	決算	H29.8.25	上下水道局	上下水道局(下水道)	経営状況について	繰越利益剰余金の増加予測の中で、資金不足を理由として更なる料金改定を行うことは、市民の理解を得るのは容易ではない。料金改定に当たっては、丁寧な説明を行うよう努めること。	着手中	令和8年3月	公営企業(下水道)	
40	29	決算	H29.8.25	上下水道局	上下水道局(下水道)	宝塚市下水道ビジョン2025及び宝塚市下水道事業経営戦略について	下水道(雨水)施設整備延長比率、重要な汚水管路の耐震化率、管渠改善率、水洗化率について指標を達成できていない。最終年度の目標値を達成できるよう計画的に取り組むこと。必要に応じて経営健全化の取組見直しを検討すること。	着手中	令和8年3月	公営企業(下水道)	

No.	年度	種類	監査結果報告日	担当部名	担当課名	意見等・指摘項目	概要	対応状況	完了時期 (完了予定時期)	会計区分①	会計区分②
41	29	決算	H29.8.25	上下水道局	上下水道局(下水道)	一般会計繰入金の精算について	一般会計からの繰入金の精算について、いまだ繰入金の在り方についての整理がされていない。合理的な精算方法について検討をする必要がある。	完了	平成30年3月	公営企業(下水道)	
42	29	決算	H29.8.25	上下水道局	上下水道局(下水道)	徴収計画について	性格の異なる水道料金と下水道使用料について、内容の全く変わらない徴収計画を策定していることは計画の形骸化。下水道使用料にふさわしい徴収計画を作成し、計画的な滞納整理に努めること。	完了	平成30年3月	公営企業(下水道)	
43	29	決算	H29.8.25	上下水道局	上下水道局(下水道)	変更契約について	第1回設計変更による増額が1258万円となるにもかかわらず、概算で500万円の指示書を交付していた。やむを得ず設計変更が必要となる場合には、積算を明確に行い、適正な手続を経て行うこと。	完了	平成29年9月	公営企業(下水道)	
44	30	決算	H30.8.23	上下水道局	上下水道局(下水道)	経営状況について	決算書上、毎年度繰越利益剰余金が増加していくことが予測されている中、今後更なる料金改定を行うとすれば、主に企業価値向上のための資金不足を理由とする事となる。料金改定の検討に当たっては、市民の理解を得られるような説明を行うこと。	着手中	令和8年3月	公営企業(下水道)	
45	30	決算	H30.8.23	上下水道局	上下水道局(下水道)	宝塚市下水道事業経営戦略について	下水道事業経営戦略において示された取組効果額について、計画どおりに進んでいない。計画とおりの取組効果額を生み出すためには、新たな取組の検討が必要である。最終年度(平成37年度)の目標値を達成できるよう、取組を強化すること。	着手中	令和8年3月	公営企業(下水道)	